

刊夕 日三十月九



定価 一部金...  
 発行所 常警毎日新聞社  
 印刷所 常警毎日新聞社

所得調査委員の  
改選に際して (一)

平税務署長  
唯野 喜八

所得調査委員の改選は来る十月十日を期して全般的に行はれることになつてゐます。そこでこの機会に於て所得調査委員とはどんな仕事をやるものであるか、又その選挙について心得て置かなければならぬことは何かといふことについて簡単に申述べて参考に供し度いと存じます。

一、所得調査委員を設けられたる理由  
 われ／＼國民が租税を納めるについては税務署長の調査に疎漏がなくその負擔に於て公平且適宜であつて欲しいといふことは誰しも望むところでありませう。どんな立派な法律や規則を設けても、又どんな負擔力に應ずる税率が出来ても、大

ノート

鱈鱚の泥  
 吐せには  
 手桶の中  
 に水を入れそれに放して  
 唐辛子三四本入るとよ

来ないのであります。然るに租税の中には、この課税基本の調査の困難であるものが、尠くないのであります。

所得税や、營業収益税などもその一つでありまして

明日の献立

- 【朝】味噌汁—ねぎ 小付 福神漬
- 【晝】金平牛蒡
- 【晚】蛤湖汁 鶏肉 焼き豆 腐 ねぎ煮込

その課税の基本である所得や純益を個人經濟の内部に亘つて調査することは頗る困難であります。これに乗じて課税基本を故意に隠蔽する者も出て來ます。又税務當局の誤認から負擔力のない者まで課税されるといふことも全然ないとは申されないのであります。

そこでこれらの租税は、課税基本の調査を出来るだけ精密にし、負擔の公平と課税の均衡を圖るが爲めに税務署長の調査の欠点を補つてゆくことが必要であるから、納税者側にも委員を設けて其の調査に當らしめるといふのが、所得調査委員の出來た根本の理由であります。即ち所得調査委員は、所得税、營業収益税、



及乙種資本利子税の納税者を代表し、税務署長を補佐し又、納税者の權利を擁護するために設けられたものであります。

秋  
高木 風霧

さや／＼と鳴るものがあ  
 空に—。  
 そんな空に眼を浸すと  
 眼の底でシーンと灯がと  
 もる  
 さや／＼と鳴るものがあ  
 樹に—。  
 そんな林の中に生命を漬  
 けると  
 生命は五輪蠶の様に透け  
 てにほふ

白い夕暮  
 白百合の香りがして  
 ひた／＼とほ／＼にあた  
 るもの  
 夕暮れは白いと云ふ  
 ポツチリと小さい 灯  
 カサコソと私の胸に  
 郷愁をよびさまして  
 遠く— 遠く— よんで  
 るもの  
 夕暮れは白といふ

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)  
 山内醫院  
 醫學士 山内 亨 吉

体温計の検査日です

10日 検新  
 機設 お宅の體溫計は?  
 ◎正確な体温計を御使用下さい  
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい  
 度量衡 指定販賣人 西村屋藥局  
 計量器 電三番

石炭

一俵十八錢ヨリ  
 多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。  
 平町十五丁目 電四六番  
 エビスヤ燃料店  
 東洋火災保險株式會社平中央代理店

今曉失火の際は早速御馳付消火に御盡力被下以御蔭様大事に至らず候段厚く御禮申上候。一々拜趨御禮可申上候處混雜中に付不取敢以紙上御禮申上候  
 九月十三日  
 平町才穂小路  
 小泉 英次

今年も例年通り

かまぼこ製造



お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
 相はじめました何卒御用命の程!  
 平町一丁目  
 電話一四一番

石炭

コークス 炭  
 玉 炭  
 平 驛 前  
 阿部石炭商店  
 電話三七番

酢はの秋!!

ドライブ...訪問...には...  
 是非! 素晴らしく乗心地のよい  
 セリザワのニューカーを御用命下さい。  
 平・三 芹澤タクシー  
 電 395 番

# 貯藏米激增

## 例年の記録を破る

### 現在郡下に四萬四千石

#### 當分値下りは困難か?

石城地方の米價は政府の買上米貯藏獎勵等の關係から頗る品薄となつた結果一時は一俵十二圓といふ例年にならぬ高値を見せたが高値の原因となつた郡下の在米高は最近平米穀検査所の調査に依ると四萬三千三百石

# 平驛の成績

## 乗降客は多いが 運賃で壓倒さる

### 水鐵管内の状況調査

水戸運輸事務所管内常磐線各驛一日の乗降客數及び賃金の收入高によると平驛一日の乗降客數は四千七百六十九名で水戸に次ぐ常磐線第二位にあり以下郡下の各驛では(湯本)一三〇七(綴)八八〇(泉)七七七(勿來)四九四(小川)三五八(赤井)一六四等の順で平驛の乗降客は斷然他を壓倒して東北の關門を誇つて居るが一方各驛一日の賃金合計高から見ると常磐線第一の收入驛は綴の七千七百四十六圓、二位が湯本の三千四百七十九圓、助川二千五百六十六圓、水戸千九百五十五圓等が主

# 勤務調査

## 本省官房課 一行が來平

平驛従業員の勤務狀態調査の爲め本月廿九日に鐵道大臣官房課の現業調査課の一行が來平する事になつたので平驛では驛長初め大童べで萬遺憾なきやう準備に努めて居る

# 職業實習の 兒童座談會

職業實習に参加した兒童の座談會を催し今後指導上の參考に資する事になつたが當日は四家平職業紹介所長臨席する筈

# 保護の光

## 自營會宣傳

平自營會及び石城佛敎慈善會では今十三日の司法保護デーに際し既報の如く更生の門出に保護の光のポストカード百枚を郡内各所に掲示した外持ちもたれつ慈愛で保護せられたしこれが社會の平和幸福の標語を刷込んだビラ約一萬枚の徹底を期した

# 平法曹團が 郡山へ遠征

既報來る二十三日郡山市麓山球場に於て開催される福島地方裁判所管内第三回對抗野球大會に出場の爲め平法曹團野球部は當日午前三時自動車に分乗正門を出發すると出場ナインは左の如くである

藤田川岡澤家野木尾 遠野  
齋山石吉小光上鈴松  
(投捕) (一) (二) (三) (遊) (右) (中) (左)

# 立體的構成

## 近代美の一偉觀

### 鮫川に架る鐵橋

植田町鮫川に架かる鮫川橋は近年腐朽甚だしく通行上危険に曝らされ幾度か地元民から架替を要望されてゐたが豫算の關係から實現の機に至らなかつた處を縣でも實施の腕をきめ來る縣會に提案する由にて工費三十萬圓二ヶ年經費事業として明十年度より着工する

# 選舉名簿を調製

## 明年の縣議改選を控へ 申告を洩れなく

平町では九月十五日現在を以て衆議院議員及び縣會議員選舉人名簿を調製することになり今十三日申告書用紙五千餘枚を一齊に配布したが有資格者は明治四十二年九月十六日以前出生にて昭和八年九月十六日以前より平町に居住せる者であるが明年の縣議改選を控へてゐるので各自洩れなく申告されたいと

# 新鋭漁船が 勇姿を海上に

## 江名濱新造の盛清丸 近く秋刀魚の初漁へ

豫て宮城縣石巻造船所に依頼造船中であつた江名漁業組合盛清丸は漸く竣功此の程同港に廻港十二日午前十時から多數名士を招いて盛大なる進水式を舉行したが同船の總工費は八萬五千

圓、百三十噸、二百五十馬力、水及び燃料積載各二十八噸(四十日分)時速十一哩  
縣指導船警城丸より更に進歩した優秀なる新鋭漁船で十四日より海上にその雄姿を誇りつゝ私刀魚の初漁を開始するといふ

● 季節鳥料理 ●  
やな川  
うなぎ  
魚榮へ  
配達迅速  
電話二四  
平田町

美味! 芳醇!  
宗正らひた  
縣稻敷郡牛久村大字牛久二八三野口五郎氏(四八) 同縣久慈郡金野村大字高柿五六四 荻津ときさん(四三)

# 辛苦の二千圓を

## 不貞の妻が拐帶

### 辛棒者の谷口の料理番が

#### カンくになつて平署へ

平町二丁目谷口樓方料理人新鴻市東湊町生れ松田松二(五〇)さんは去る三年より同家に

奉公中に 同家の女中桐生市東町生れ宮澤トミ(四三)と懇ろになり内縁生活を結んでゐたが獨立する時の用意にと粒々辛苦して現在までに二千圓の

郵便貯金を積んだの

## 一職工の美學

### 新聞を読んで同情

氣の毒な一家に恵ひ

通知した

郡山市達中場鳴原イノさんは數年前夫に死別し腸チフスに傳染した二兒を抱へて貧困に泣いて居るが同月下旬頃郡山署を経て無名で一圓を寄贈た人があり更に本月初旬ウドン一箱を送つて呉れたので一家はこの未知の人の温かい情に感激した

が荷札には石城郡内郷村岩崎としてあるのみの爲めこの荷札を唯一の手懸りとして平署に調査方を願出たので同署ではこの奇特な行爲に感激早速調査したところ右は内郷村大字宮字竹ノ内磐城炭礦坑夫岩崎義美君(三三)と判明げふイノさんに

で相談の上本月初旬同家を退き一戸を構へたが十一日トミは夫の眼をかすめ該貯金通帳を持出して

家出したのでカンくになつた松二さんは十日平署へ取捕へ方を願ひ出たが或ひは他の男と墮落ちしたのではないかと云はれてゐる

なつたが極小路、田町邊から模擬市街戦に始り漸次城山方面に轉戦機關銃四挺の追撃戦を演じ同九時頃終了する豫定で指揮官は青訓側が藤田分會長、平商軍側が駒場配屬將校であると

## 事變に因む

### 磐中の演習

磐中では十八日午前八時より滿洲事變に参加した同校教官比佐大尉の講演あつて後四、五年生が高月臺と松ヶ岡に分れて滿洲事變に因んだ野外演習を行ふ

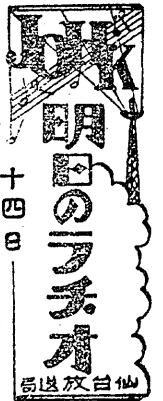
## 殺害された

### ルンペンの身許

る事判明した由

昨報酒を強請したルンペン風の男を斧で殺害した双葉郡新山町大字前熊寺一六日雇兼農石橋宗助(五二)は直ちに平検事局に護送され清田

果殺人罪として起訴本日平支部の豫審に回附されたが被害者のルンペン風の男は同郡大野村大字野上居住大野常磐線道路改修工事土工新瀧縣生れ渡邊幸三郎であ



明日のラズオ

今晩は南西の風 一時曇明日は北西の風晴曇半す

## 今晩の部

後六〇〇 子供の時間 唱歌劇秋をうたよJ.O 唱歌隊 後六二五 英語講座(二) 峰尾三治 後七三〇 講演「釋放者保護デーに當りて」司法

## 四倉軍事講演

四倉 鶏鳴會は十八日午後六時より同町四倉劇場に於て陸軍歩兵中野正太郎氏の軍事講演會を開く

## 今曉の小火

直ちに消し止む

十三日午前三時二十分頃平町極小路二九南間屋小泉英次方乾燥場から發火したのを家人が発見幸ひ大事に至らず消し止めた原因はボイラーの過熱かららしいと

## 子供等に適當な

### 市内の遊び場所

第三校の先生が案内

平第三小學校では本日午後一時より講堂に各學年の正副級長を集めて校外取締りに就て訓話を行つたが會後係指導は級長連を引率して市内の子供に適當な遊場所を視察した

## 旅役者が

仲間から盗む

目下湯本町に開演中の巡業劇團所屬俳優東白河郡豊里村生れ片寄芳枝(三〇)は昨十二日午後八時頃舞臺出演中の同僚の部屋から銀時計及びクローム腕時計三個を窃取逃走したので今十三日被害者から平署に届出た

## 洋傘横領

修繕するとして

當時住所不定茨城縣多郡華山村車四六四洋傘直し業村山滿衛(三三)は昨年夏頃湯本町木賃宿羽太屋より洋傘を直してやると稱してその

後九、三〇 時報ニクス 氣像通報 番組豫告

明日の部

前六、三〇 基礎佛語講座 (二) 目黒三郎 前七、一〇 聖典講義「歎異鈔」(一) 梅原眞隆 前九、一〇 料理献立「南瓜鮭肉詰め蒲葛餡」中村康子 前一〇、三五 婦人藝術講座「日本畫」(二) 文學博士 齋藤隆三

後〇、〇五 琵琶「地震加藤」常磐旭堂 後六、〇〇 子供の時間 お話「秋の國史」岩城準太郎

後六、二五 基礎英語講座 (三) 岡倉由三郎 後八、〇〇 獨唱と管絃樂 獨唱 佐藤義子 日本送放交響樂團 後八、三〇 地唄「虫の音」 菊原初子 後八、五〇 映畫劇「江戸は移る」林長二郎外大勢

## コソ泥捕はる

當時住所不定樺太豊原町字西六條南三丁目二無職紺野一男(三三)は去る二日より湯本町傾城一五木賃宿屋トメ方に宿泊中同室の出入炭礦運搬夫長田保所有の竹行李の中

から現金二圓餘を窃取したこと發覺十二日平署に檢舉され餘罪ある見込みで取調べ中

電話 79 番

# 貸切

是非 迅速親切 御客様本位の……

## 平タクシーへ

▲長距離は特に御相談に應じます。

## 内科

### 川井内科診療所

川井安子

平町(電話二四三番)

# 近新音頭

(續前上段及上巻)

田邊南龍(作)  
山本英春(繪)

一三三

なか／＼の遣ひ手

「左様でござるか、まだ御晝飯前でござらう、お仕度を致したから一飯召上つて下さる様」

「有難う存じます、左様なら御辭退なく頂戴致して参ります」

座敷へ来て御飯を頂いて禮を述べて兩人はコソ／＼と歸る、仁兵衛は道場の門弟に向つて

「イヤ各々方、彼ア云ふ修行の御仁が度々お出でなさる、彼れでも小川氏と云ふ方は大分出来て居なさる、素直だつた、田中と云ふ御人は拙者が小手を取たに過擦つたと云つた、彼ア云ふ事は爲すべからざる事だ、先生の名前が悪くなる、師匠の教へ方が悪いと云はれるからよくお氣を注げなさるが宜しい」

多くの弟子に能く話をし、仁兵衛は稽古をして日の暮方に弟子は皆歸る、此方兩人は道場を出て田中佐平が

「小川氏却々仁兵衛と云ふ奴はよく致しますなア」

「田中氏は小手を打たれてかすつたなぞと云ふはいけないよ」

「夫でも餘り残念だか」

「餘り残念だと云つて若し知れた時には師匠の名が悪くなる、お氣をつけなさい」



「ではござるか、先生と仁兵衛とは何方が強いのでせう」

「さうさね味方最負と云ふ事があるから菊地源六先生の方が強いと思つて居る」

「それに仁兵衛が旅の修行者のものと心得て叮嚀に調子合して、打合つて呉れたのだからさのみ強くないと思つたのだ、それが先物

見えないと云ふもの、日が暮れて道場へ歸つて来て「ヤア各々只今歸りました」  
「どうした御兩所」  
「仁兵衛は却々よく出来る」  
「勝てましたか」  
「却々」  
「却々では分らない、どうしたんだ、勝てたかい」  
「勝てない／＼」

「ウム、大分の腕前と見える山師ぢやアないと見えるな」

「山師どころぢやアない却々能く出来る、然し家の先生の方が腕は出来ると拙者は思ふ」

「左様かな」  
「先生がお立合に入らつしやれば、岐度向ふを打込んでお仕舞ひなさる、さうす

れば百人からある弟子は皆んな此方へ取つて了へる、先生に申上て乗込ました方が宜しからう」  
「さうさねそれもよからう」  
相談をしてゐる、夕飯を済ますと大野留吉といふ弟子を連れて菊地源六先生入湯をなさる、湯屋の事だから勝手次第な歌を唄ふのもあれば大きな聲で話しをしたり笑つてゐるものもあるなか／＼騒々しいものでいます。

「オウ退いた／＼」

「誰だい大層勇んで来たなア」

「金太だい」

「オウ金太か」

「斯う見えても餘の中から出た金太ぢやアねえせ」

「金太」

「ね」

「近頃は手前は太川端の道場へ行つて剣術を習つて大分腕ツ節が出来て来たと云ふ話だな」

「ウム俺も先生と相談をしてもう少し経つたら國々を武術修行に歩かうかと思つて居るんだ」

「賞めりや付け上りやアがらア手前などが修行に歩いたつて仕様が有るものか」

「仕様がねえとは何でえ」

## かつを

## 塩から



店理代平命生本日本最大優最  
榮 盛 賀 志  
(三一二電)目丁四平

### 門專 科病柳花外 院醫科外村木

際橋目丁六町平 番九〇三話電

市原醫院

平町田町 電話一四番

### 吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番

醫學士 吉田 久雄

門專  
.....  
産科  
婦人科  
花柳病科  
.....  
◎入院隨意

### 井坂醫院

平町田町 電話五五九番



## 玉屋

平町田町通電話六五六番

●店員募集

年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ